

令和3年度 防災部 活動レポート

みんなで楽しく活動しているよ!

平成27年度に区内の全中学10校で部活動の一環として防災部が創設されました。昨年度に引き継ぎ新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの活動が中心になりましたが、今年度の防災部の活動を報告します!

1学期	被災地訪問事前学習
夏休み	被災地訪問(オンライン交流)、被災地訪問報告会@ゆいの森あらかわ
2学期	中学生防災対策会議(第1回)オンライン被災地訪問報告会@各中学校
3学期	中学生防災対策会議(第2回)地域拠点備蓄倉庫見学(新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止)
通年	防災検定の受検推進

6月26日 被災地訪問事前学習

毎年行われている被災地訪問のためにみんなで事前学習。各中学校から2年生2名が参加しました。

夏休み / 7月27日 被災地訪問(オンライン交流)

今年も新型コロナウイルス感染症のため、釜石市などの被災地には行くことができませんでしたが、「避難所へ持っていくもの」や「避難所で誰からお弁当を配るべきか」など、防災についての意見交換をすることで、新たな気付きもありました。来年こそは、釜石市の中学生と会って直接交流をしたいです!



画面越しのゲームだったけど、楽しかったです!

オンラインでカードゲーム

テレビの取材を受けて少し緊張気味

釜石東中学校の生徒たちと区内の防災部部長が全員集合!



8月27日 ゆいの森あらかわで被災地訪問報告会



ゆいの森あらかわゆいの森ホールで被災地訪問報告会



けがをした人の救助訓練をじつえん実演したよ!

各中学校での活動 / 中学生防災対策会議(第1回)オンライン被災地訪問報告会

10月15日に第四中学校防災部2年生の吉本さんと細田さんが、全校生徒に向けてプレゼンテーションソフトでまとめた訪問報告を行いました。オンライン交流を通じて学んだことをわかりやすくまとめており、全校生徒みんなで防災についての意識を高めることができました。



第四中学校防災部の吉本さんと細田さん

Topics

「小学校図画工作展」が開催されました

1月12日から18日まで、アクト21(男女平等推進センター)で「小学校図画工作展」が開催されました。令和3年度は『わたしからはじまる〜かんじる・ためすから広がる思い〜』のテーマのもと、区内の小学生が授業などで制作した絵や工作などが展示されました。会場にはさまざまな作品が並び、多くの方が見に来ていました。色とりどりの絵や迫力のある作品がたくさん並び、楽しさあふれる会場となりました。



小学校図画工作展の様子



元気いっぱいの作品です!

あらかわ 今昔ものがたり [あらかわの歴史と伝説]

その136 子どもの成長を祈る伝統行事 「雛祭」とお雛様

赤ちゃんが健やかに育つようにと祈る気持ちは、今も昔も変わらない。女の子が生まれた家庭では、年が明けると赤ちゃんの成長と幸せを祈る大切な行事の準備が始まる。何の行事かわかるかな? そうそう、「雛祭」だね。

♪今日は楽しい雛祭♪ 雛祭は3月3日に行われる「桃の節供」とも呼ばれる行事。お雛様(雛人形)を飾ってお供えをいただく楽しいお祭りだね。今では、雛祭ケーキでお祝いするけど、昔は白酒・菱餅・豆炒などをお供えしたんだって(『東京年中行事』)。あらかわに昔から住んでいるお年寄りによれば、菱餅・煮しめ・果物・野菜・さざえ・蛤などをお供えしたそうだよ(『尾久の民俗』など)。随分と盛大だったんだね。

お雛様の今昔 元は紙製の雛様や道具を並べる人気の遊びで、「雛遊び」と呼ばれていた。江戸時代の初めの頃には道具が立派になり、飾る雛様の数も増えてきた。そのうち、紙などでできた人形を水辺に捨て流してケガレを祓う「上巳」という行事と合わさって、雛飾りを楽し

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



む「雛祭」になったんだけ。みんなが知っている内裏雛(親王雛)が流行するのは、江戸時代の終わりの頃だったんだよ。

お雛様を生み出す人形師 お雛様はお正月から春先にかけてデパートや人形専門店に華やかに展示されているよね。江戸時代は、ちょっと変わった場所で売られていたんだ。十軒店の通り(現中央区日本橋室町)に2月25日から3月2日まで「雛市」が立ち、すごく賑わったそうだよ(『東都歳事記』)。ここに並べられていたお雛様は、人形師と呼ばれる職人さんたちが一体一体作り上げたものなんだ。



江戸名所百人美女十軒店(国立国会図書館蔵)

あらかわでは、子どもの健やかな成長を願う気持ちを込めて人形作りにはげむ職人さんが活躍している。今度、荒川ふるさと文化館のイベント「あらかわ伝統工芸Week」(3月19日~3月27日)で展示されるよ。素敵なお雛様に会いに来てね。



区指定無形文化財保持者・竹中重男(幸甫)作「親王飾」